

# 開校70周年 落五小レガシーと絆の強化

## 教育目標

- 進んで考える子
- ◎明るく思いやりのある子
- 強くたくましい子

## 合言葉

- ★当たり前のことが当たり前ができる学校
- ★家族のように仲のいい学校

## 〈確かな学力〉（研究部・教務等）

【評価：学力調査(国都区)平均以上・児童保護者アンケート・授業観察・週ごとの指導計画（週案）・自己申告】

◎知識・技能の確実な定着及び思考力・判断力・表現力の育成

▶反復（スパイラル）による指導◀

▶主体的・対話的で深い学び(協同学習・アクティブ・ラーニング)◀

◆繰返しの学習を重視し、基礎・基本を徹底する。

○朝学習（国語）15分集中して取組ませる。週2回（全教員が指導）

○東京ベーシックドリルの実施

○個別補習・放課後学習支援の充実

◆質の高い授業の実施

○教科担任制の導入（5・6年生）

○複数体制による指導

◇算数少人数習熟度別指導・算数TTの実施

◇レディネステスト・診断テスト等を基にした個に応じた指導・支援

○不断の授業改善

◇授業のユニバーサルデザイン化

◇協同学習の実施（ペア学習・グループ学習等）

◇週案を基にした綿密な準備、ノート・ワークテスト等による評価

◇校内研究の充実…国語科の充実。授業改善。OJT

◇学期1回以上の授業観察：教員同士の学び合いの場

◇ICT等による多様な学習・プログラミング学習の充実

◇GIGA端末と従来のドリルやノートによるハイブリッド学習

◇区学力調査・学力向上のための重点プランに基づいた授業の実践

◎読書活動の充実【評価：読書目標の達成状況・読書記録】

読書目標の設定 学年課題図書の設定 学習支援本実施報告の活用

調べ学習での図書の活用・質の高い読書による言語活動の充実

## 〈家庭との連携〉

◎家庭学習・生活習慣の手引き＝「家庭ルールの手引き」の充実・活用を工夫

◎新1年生保護者会・各学年の保護者会の充実

◎通知表（あゆみ）の二期制実施

◎地域訪問・個人面談・希望面談の充実

◎ホームページ・学校だより・学年だよりによる啓発

## 目指す学校像

◎子供が行きたいと思う学校

◆規律ある学校・学級である。

◆夢中になれる、分かるようになる、できるようになる授業がある。

◆安心して自分の思いや考えを表現できる。

◎保護者が子供を通わせたいと思う学校

◆安全・安心が確保され、情報が共有できている。

◆子供がいつも楽しく通っている。

◆子供を伸ばし、力を付けてくれる。

◎地域が誇りに思う学校

◆子供や教師が気持ちよく挨拶し、親切である。

◆地域とのかかわりを大切にしている。

◎教師が勤めたいと思う学校

◆互いに高め合い・学び合い・支え合える。

◆プロの教師集団としての意識をもって切磋琢磨する。

## 人権尊重の理念に基づく学校経営・学級経営・専科経営

「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」に基づき、児童との信頼関係を構築し、一人一人が所属感をもてる温かい学校経営、学級経営、専科経営を一層推進する。

人権主任を置き、教職員の人権感覚向上と児童への人権教育を一層充実させる。

## 全ての教育活動のベース！

### 学習環境・生活環境の整備（教育効果を高める）

◎掲示物等による学習環境・生活環境の整備

◎学校内外の生活上・学習上の安全確保

◎学校敷地内の清掃・樹木等の手入れ等の徹底

校舎・校庭・花壇・屋上・芝生等の手入れ、および管理

## 〈体力の向上、健康教育、食育〉

◎体力テストの結果を踏まえた体育授業等の改善

◎日常体育（体育的活動）の充実と継続

◎新宿ギネス・落五スポーツ週間での運動に親しむ態度の育成

◎オリ・パラレガシーとオリ・パライヤーに関する教育の推進

◎健康生活の基本となる知識を身に付け、実践できる能力と態度の育成〔意図的・計画的な保健管理、保健指導〕

◎望ましい食習慣、食事のマナー等を身に付けさせ、食生活に対する意識を高める。〔意図的・計画的な食育指導〕

## 承前啓後の学校教育!!

## 〈教職員の服務〉

◎教職員は、子供たちの健やかな成長に大きな影響を与える存在。

専門的な知識はもとより、豊かな人間性と使命感が求められる。

教師の言動が子供によい影響を与え、模範となることから、各自がその職責を十分に果たし、服務の厳正に努め、人権感覚磨きに努める。

## 〈豊かな心〉（生活部・特別活動部）【普遍的な視点からの取組】

【落合地区小中スタンダードの定着】「わたしがみらい」

【評価：児童保護者アンケート・自己申告】

◆生命や人権の大切さについての指導、生きる力の指導を徹底～いじめ、不登校等の防止～

○挨拶を大切にし、明るく元気に生活する態度を養う。

○教育相談・特別支援教育の充実により、教職員の共通理解のもと、チームで一人一人に寄り添った指導・支援を行う。

hyper-QUの有効活用 まなびの教室との連携

○「落五のよい子」や生活目標に基づき、共通理解・共通実践による規範意識の徹底

○「家庭ルールの手引き」の内容及び活用を工夫し、家庭と一体となって 基本的生活習慣・学習習慣の確立に努める。

○清掃、整理整頓を徹底し、きれいな学校を維持する。

○防災・防犯意識を高める安全指導・安全を守る看護・点検・避難訓練の工夫、情報モラル教育、地域安全マップ・セーフティ教室

◆集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く。

○縦割り班活動を中心とした、異学年交流の充実

縦割り班活動(遊び・読み聞かせ等)、全校遠足など

○学校行事 学芸会の充実 入学式・卒業式等の見直し

○学級活動の充実 学級会（話し合い活動）

○児童会活動・クラブ活動

内容や時間の精査

◎道徳教育・特別の教科道徳の充実【評価：授業観察・公開講座】

【普遍的な視点からの取組】

◎読書活動の充実【評価：読書目標の達成状況・読書カード】

質の高い読書による情操教育

◎金管バンドの充実 週2回の朝練・講師による指導、発表会等

## 〈地域・子ども園とのかかわり〉

◎地域協働学校として地域と一体となって児童の育成を図る

◎地域を扱う単元の指導を通して、地域の人や環境等とのかかわりを深める

◎保育園・幼稚園・子ども園・中学校との連携の充実

子ども園との連携：年間計画の更新・活用

中学校との連携：落合第五小学校・落合第六小学校が会場

◎ホームページ、学校だより（学年・学級・専科）による情報提供。

☆児童、保護者アンケート・自己評価・学校関係者評価等による学校運営の改善